



第3回 関川流域フォーラムについて



第3回関川流域フォーラムについて

◇ 今年8月に関川流域内の4会場において「関川意見交換会」を開催して、これまでの流域委員会の取り組みや、『関川水系河川整備基本方針』、『河川整備の目標案』の内容を紹介し、流域の皆様よりご意見をお聞きしてきました。

頂いたご意見を今後の河川整備に反映させるかを考え、このたび国から提示された河川整備計画(原案)の骨子に関して第3回関川流域フォーラムを開催し、参加者から広く意見を頂きました。

●主 催：関川流域委員会

●開催日時：平成19年11月4日（日） 13:00～16:00

●開催場所：上越市社会教育館「第1集会室」

●内 容：

- (1)挨拶（関川流域委員会委員長 小池 俊雄）
- (2)関川流域委員会これまでの取り組み
- (3)関川水系の河川整備について
- (4)関川流域委員会からみた河川整備計画
- (5)意見交換
- (6)論点の整理



第3回関川流域フォーラムの論点の整理

- ◇ 第3回関川流域フォーラムの最後に進行役の小池委員長がみなさんの意見を聞き、論点の整理を行いました。

第3回関川流域フォーラムでの論点整理

全体

計画のスケジュール、土砂堆積、将来像、関連機関間の連携・一貫性
数十年に一度というものより毎年あがる水の問題、雇用問題（企業誘致）の視点

治水

放水路

早期実現要求、放水路は水害を根絶できるか、満潮と水害、放水路と海岸浸食
ルート仕様

H8のルート提示から11年かかったことの説明責任。

砂丘部分のカルバート案

合意形成

ルート、ルートの妥当性・変更可能性、相互理解・合意形成の方法、
協力を要請される側の住民の気持ち

利益を受ける側と不利益を受ける側の十分な意見交換がされるべき。

フォーラムでは不十分。公聴会をやるべき。地元で説明にないまま発表されている問題。

H8の再来にならないように、行政としての説明責任を果たしてほしい。

実際の事例の視察の機会を設ける

河川管理

樋門・樋管の管理と町の浸水（内水）

環境

生態系

川の生き物調査、サケの採捕

水辺空間

教育と川の利用

情報共有

水銀汚染、地盤沈下と治水、三面張り水路、地すべり、棚田の保全、除草剤、魚道

利水

矢代川の瀬切れ